

かわべ

隔月発行
 河辺村公民館
 編集
 館報編集委員会
 ☎(089339)2311
 佐川印刷 KK
 吉田町北小路 ☎2-0600

河辺村人口動態

(S.55.1月1日現)

世帯数	559
人口	2,229
男	1,141
女	1,088

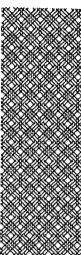
(S.50.10国調)

世帯数	666
人口	2,368

(S.45.10国調)

世帯数	718
人口	2,810

新年を迎えて



市長 穂田 三二編

皆さん明けましておめでとうございます。昭和五十五年の新春を迎え、皆様のつがひ御慶年を心からお喜び申し上げます。さて、今年河辺村政三十周年目に当り、一つの区切りとして記念すべき年であり、それにふさわしい行政の執行を図りたいものと

思っております。皆様もすでに報道で御承知のとく国家予算も難産の末、四十二兆五千億と発表されましたが、その財源内容を見ても国債発行によるものが13を占めると言われる現実の中では、いかに長期計画による再建策といつても必然と国民生活に不安が残ることは明らかであります。さて現在、来年度の村予算の編成を進めている時期でもありますが、事業計画の一端を少しのべてみたいと思っております。

最近、話題になっております役場庁舎の新築問題につきましては立村以来の念願でもあり、現在の

建物では役場としての機能が得られず、行政事務に支障を生じ皆様の利用にも不便をかけるおそれがあります。村民の方々の総意を配慮しつつ二三年をかけて完成すべく財源の確保に努めます。

現在、六千七百円程度の基金を積立てておりましたが、いざ建築となると約半額近くの自己資金を生み出さなければなりません。

昨年より特に、国の新農業構造改善事業の中で大洲喜多特定地区農業改善施設の整備も着々と進んでおり、将来における地域農業は大きく方向を変えようとしております。本村におきましても、農道開闢や農地改良事業などに新しい要綱の策定を検討したいと考えております。

さて、生活環境の整備充実について最近、要望の多い地域の水道施設問題が特に村財源の圧迫につながっておりますが、文化生活の基幹施設でもあり、今後水道整備を積極的に促進してまいります。

また、複雑かつ多様化する火災事故の対応について、消防力は迅速的確な判断を要するため、防火水槽の設置や昨年発足した広域消防川上支所の指導のもとで防火強化をいたします。

最後に教育面では、私たちが豊かな社会生活を営む上で最も必要なものは、高い知性と温かい人間性だと考えます。すべての住民が同和問題に対する正しい認識を深め、この解決を



晴れやかに41名が出席 ～はたちの門出、お正月に祝う～

一足早い成人式が今年も一月三日基幹集落センターで開かれ、新成人四十一名(対象者七十一名)が晴れやかな姿で出席しました。

午前十時からの式典では、記念行事として記念撮影の後、映画「コスモスの咲く街を鑑賞し参加者一同、人権尊重について深く考えさせられました。午後の懇親会は、久しぶりに出合った級友と語り合うなか、なごやかな雰囲気の中で「ガラオケ」をバックに歌も飛び出し楽しいひとときでした。



菊地利一

郷土に役立つ おとなに

この世に生を受けて、早くも二十年がたちました。「社会人になってどう思う?」と聞かれても、今の私にはなんと答えてよいのか……。

また、おとなの実感がわいてきません。しかし、こんな気分から早く脱しなければと思っております。

二十才になつての感想は不安と期待が入りまじった心境です。これからは、周囲の人たちから一人前の社会人として扱われるのだから、自分の行動に責任をもち、権利と義務を果せる社会人として

成長したいと思っております。また、私の知らないことが数多くあり、これを少しづつ経験し、一歩一歩先輩たちに近づき努力を積み重ねて、河辺村に役立つ人間になりたいと思っております。

今後、私も一生懸命努力するつもりですが、先輩のみならず、いろいろな御指導くださいますようお願いいたします。

わが道を力強く 切り開いて



二宮美香

「二十才」成人……また、私には実感がわいてきませんが、成人できたことをうれしく思います。

学生で過ごした十代を振り返ってみて、年月の過ぎるのは早いもので、本当に私が「二十才」になったのかしらと疑ってみたいくらいです。

十代の頃は、あれもやってみたく、これもやってみたく、いろいろな大人になった時のことを考えていたものです。何をやるにしても常に親を頼っていたのですから……。

今、大人への第一歩を踏み出した私に、これから先どんな障害が待ち受けようとも、力強く突き進んでいく覚悟です。

忙しい日々ですが、とても充実しているのですから……。

八十年代の世の中は? 私の顔はどんなふうになっていくことだろう? きたまの歌を聞きながらあれこれ思う。(A)

20歳を迎えて思う

ふるさとに望む

「苦あれば楽ある」は、ふるさとで培われたものであろう。過日、本紙の三月号を送って頂いたその中、上級学校への進学率が八五多であったとか、私達の時代と隔世の感があり、大変喜ばしいことだと思ふ。

ふるさとを出て行った私が言うのは面映いことだが、その中成長したいと思ふ。また、私の知らないことが数多くあり、これを少しづつ経験し、一歩一歩先輩たちに近づき努力を積み重ねて、河辺村に役立つ人間になりたいと思ふ。

今後、私も一生懸命努力するつもりですが、先輩のみならず、いろいろな御指導くださいますようお願いいたします。

ふるさとに望む

「近頃、鏡を見ないことにしたよ。」

「どうして?」
 「まあ若いと思ってたのに、顔にシワはできるし白髪も増えて、一日くまさんになつて行くのを見るのがつらいから」

「それはちがうぞ。うちの〇〇は私にきれいと、朝と晩必ず鏡の前に座って見ているからきれいでおられる。自分で私は美人だ、と喜んで鏡の前に座って見ると、顔のシワもびんぎんとして活力がわいてくる。はりが出るときれいになるから、自然に顔の手入れをするようになるし、手入れをするから若々しくなる。鏡に顔を写すだけでもよろよ、今からふけり込んでやるなよ。」

久しぶりに会った兄と兄のひと時の会話である。結婚する時に鏡は女のたましいと、タンスよりも高価な鏡台を清水の舞台から飛びおろすような気持ちで買ったものでした。その頃の私は、若くハツラツとしていて、私の人生は……とばかりに生きていた。そして今、あの鏡台は焼けたあせつた膚と数を増したシワ、続いた悲しみに一度に若さを失ってしまった。

県民体育祭に初出場 男子バレーボール3位入賞

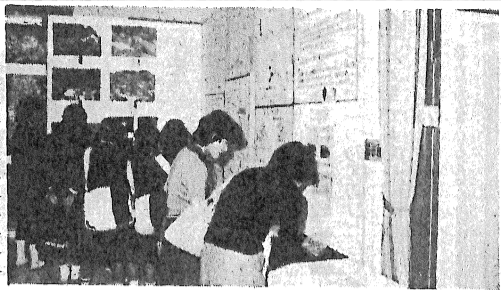
第十二回愛媛県民体育祭八幡管内大会が十月二十八日保内町で開催され、河辺村から男子バレーボールチームが喜多郡を代表して出場しました。

試合はトーナメント式で優勝を争い、いづれも都市代表の強豪チームだけに熱戦を繰りひろげて、河辺チームは一回戦で、大洲市に二対一年連続優勝している最強チームの三瓶町



3位入賞を手にした選手たち

対戦し、二対〇で敗れました。しかし、初出場ながら第三位入賞を果たして、応援者と共に祝杯を上げ喜びをわちあいました。



新しく完成した基幹集落センターを展示会場として、第四回村民文化祭が十一月一日、二日まで開催され、期間中延べ八百人の人々が訪れてにぎわいました。

今年もそれぞれ趣向をこらして、農協コーナーでは農機具類の展示即売、森林組合コーナーは機具類の即売や椎茸生産の相談などが行われ、また他の展示コーナーでは菊花・盆栽・書道・絵画・趣味の作品などが展示され人々の目を惹きました。

二日の午後三時からは、審査のあった菊花・盆栽・書道・趣味の作品などの表彰式が行われ、結果は次のとおりです。

- 〇盆栽展(出品数八一点)
 - 金賞 久保 忠義
 - 銀賞 大見 明
 - 銅賞 児玉 恒義 神山恵美子
- 〇書道展(出品数六一点)
 - 金賞 渡辺のりえ(河一)
 - 銀賞 松尾 義信(坂三)
 - 銅賞 松本 孝之(河四)
- 〇菊花展(出品数五〇点)
 - 金賞 向井 ミツエ
 - 銀賞 中山サカエ 向井 高子
 - 銅賞 新 滋 子 河野スエ子
- 〇絵画展(出品数七一点)
 - 金賞 往見 洋子(河保)
 - 銀賞 藤岡 陽子(河一)
 - 銅賞 高橋 昌田(河一)
- 〇趣味の作品展(出品数三九点)
 - 金賞 梅田 洋子(河保)
 - 銀賞 梅田 孝(北五)
 - 銅賞 石井 綾佳(北六)

去る十一月二日河辺中体育館において、バトミントン大会と卓球大会が開かれました。

今年度、最後の分館対抗戦技でもあり、各選手は熱の入ったプレーが行われ、なかでも、今回初めて実施されたバトミントンの試合が見ものとして、応援者の声も一段と大きく響く中で、各選手はシングル・ダブルスと大ハッキリ。

昭和五十三年二月から昭和五十五年三月までに「香典返えし」かえて、「村社会福祉協議会」ま「こころ銀行」へ次の方々から多額の寄附をいただきました。

この寄附を有意義に活用するため、基幹集落センターの新築に際して、健康器具一式・調理実習器具一式などの備品を購入させていただきます。



初めての神楽に見る子どもたち

初のバトミントン大会で 男子は坂本 分館が優勝 卓球大会も同時に開く

- お互いにコート内を十分に活用し、羽根を左右に打ち分けるなどのかけ引きを見せ、初めての試合とは思えない熱戦が展開されました。結果は次のとおりです。
- ◎バトミントン
- | 男子 | 女子 |
|---------|---------|
| 1位 坂本分館 | 1位 北平分館 |
| 2位 大伍 | 2位 坂本 |
| 3位 北平 | 3位 植松 |
| 4位 植松 | 4位 大伍 |

まごころ銀行からお礼

- | | |
|------------------|--------|
| 新田運徳 殿 | 森川重生 殿 |
| 原 惣太郎 殿 | 関井一善 殿 |
| 藤岡秀男 殿 | 佐伯律子 殿 |
| 小西茂則 殿 | 松本家二 殿 |
| 幸田高行 殿 | 藤原 巨 殿 |
| 高橋 茂 殿 | 河内高雄 殿 |
| 山之内ツネ子 殿 | 土居福美 殿 |
| 富永政男 殿 | 山本安夫 殿 |
| 富永建設 殿 | 豊島 達 殿 |
| 寄附金額 一、二七、五〇〇円 | |
| 繰越金額 一、二八六、〇〇〇円 | |
| 合計金額 二、四四三、五〇〇円 | |
| 備品購入費 一、八七九、九四〇円 | |
| 残金 五五三、五六〇円也 | |
- 河辺村社会福祉協議会 会長 関井 正

税金の還付を受けるために 申告はお早めに

昭和五十四年分所得税の確定申告の期間は、昭和五十五年一月十六日から三月十五日までです。

しかし、還付を受けるための確定申告は、一月十六日以前でも申告されています。

(確定申告をすれば税金が還付される人)

一、サラリーマンで、雑損控除、医療費控除、住宅取得控除

二、年の中途で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった人。

三、原簿料や利子、配当などの収入があり、それらを含めた金額の所得があまり多くないため源泉徴収額が納め過ぎになっている人。

見事なプレーがおこなわれたバトミントン大会

初詣で落葉散り敷く境内に
一人居に耐えて生きゆく老のため
吾が性にあいに職業に打ちこめる
日々を感謝し今日も励みぬ

清水 菊江

部落差別はなくなるか?

半年前、この村に不信が
お一部の村民の心に根強い
差別の意識がひそんでいる現実
と、今までの同和教育の誤りが
はつきりと証明されました。

過疎でさびれ、田畑が荒れていくこの故郷を守りぬくには、心の通い合う、平和な村造りが大切なことは言うまでもなく、まして他人の不幸を見逃すようなことは、許されません。

差別をする人にも、やがて姿あてて見れば、部落差別のある(形は違っても、いろんな立場で)とがほとんどのだれにもわかります。差別に立めぐり合せがおとす(ないよ)に見えるのは、言葉や手つきで、昔のように差別しない村としては、皆さんが同和問題の正しい知識を身につけ、自ら出ていった露骨な差別が、内分のこととして受けとめていた(に)こもってしまっただけのこと(で)だけのように、あらゆる機会、何かことに突き当たると、すぐ頭

短歌

病める身の日々床内にも思う
灰色の雲は動きまわっており
夕陽は赤しもみじ山なみ
山里の凍てつく空気かきわけて
ブルの音高くこの年の瀬を
初詣で落葉散り敷く境内に
かたみの写し給幼孫たちと
一人居に耐えて生きゆく老のため
吾が性にあいに職業に打ちこめる
日々を感謝し今日も励みぬ
清水 菊江

- をもちます。そして悲劇を生み、人の生命まらうのです。「ねた子をおとなす」という立場をどうこのまがよい、だから何もするなと言ふことになりまふ。つまり、今の差別はさうくりそのま残して、いつかなくなる日をまらうというこ(に)なります。そんなことが許されるでしょうか。
- いずれにしても、差別という、基本的な人権を侵す事実が、この村に現在する以上、さうしてお(く)ような余ゆは許されず、時を惜しみ教育を進める責任がありまふ。
- どうか、同和問題解決のために進んで学習場に出席し正しい自己変革をされるようお願いしま(す)。(河辺村同和教育協議会)
- 消息
- (出生おめでとう)ごいいます
椋谷 父 重男 渡辺理恵
稲谷 好常 城戸脇千香
下大成 好二 森川紀美江
露内 進 露内秀和
寺数 福男 武田徹也
用の山 安広 柴野千歳
大中山 治 河本泰
植松 茂樹 大野拓也
(結婚未ながお幸せに)
(安藤東洋治(坂 榎)
(松尾 勝子(坂 榎)
(梅本 信幸(寺 数)
(上岡 明子(松 山)
(酒井 勇(稲 谷)
(梶川サエ子(帯 江)
(国井 洋(国 木)
(松本 幸恵(中大成)
(死)おくやみ申しあげまふ
下大成 水本カヲ(八五歳)
熊の坂 武内 利彦(五五歳)
露内 久保フジヨ(七六歳)
用の山 山本市三郎(八六歳)
川崎 豊島 茂樹(八〇歳)
川崎 大野秀三郎(八二歳)
植松 富永イキエ(六七歳)
下大成 土居 徳衛(九二歳)
大中山 安田都多恵(七七歳)